

24 入院後が想定外！ 介護や転院など

Q

母が病気で入院しました。退院近くになってベッドから落ち、別の症状が出たので入院を続けました。入院可能期間が終わり、在宅での介護は無理だったので転院することになりました。転院先は遠方にあり、とても大変でした。[70代]



A

入院中で症状が完全に回復していなくても、途中で転院しなければならない場合があります。入院と介護の関係を確認したうえで、入院後の生活にも備えましょう。



入院はずっとできる？

現在の医療制度では180日間の入院が上限となっています。そのため、一定期間が経つと、リハビリを専門で行う病院などに転院したり、退院して在宅療養をしながら介護サービスを受けたりということになります。「回復した」とは言えない状態でも転院や退院を余儀なくされる場合があります。

入院中に要介護状態が悪化！

高齢者の入院は、要介護度を悪化させる要因となることが報告されています。年齢が高くなるほど要介護度の悪化するリスクが高くなっており、症状別では骨折や認知症での入院によって要介護度が悪化することが確認されています。

※厚生労働省「要介護者等の高齢者に対応した急性期入院医療」を参照。

退院後はどうなる？

退院後の療養や介護、転院先や施設については、場合によってはケアマネジャー(→13)や地域包括支援センター(→3)を交えながら、入院中の病院の医療ソーシャルワーカー等と相談して検討することになります。ただし、希望どおりの転院先や施設が見つかるとは限りませんので、介護サービスを活用した在宅介護を含め、選択肢をできるだけ広げておくことも必要です。